

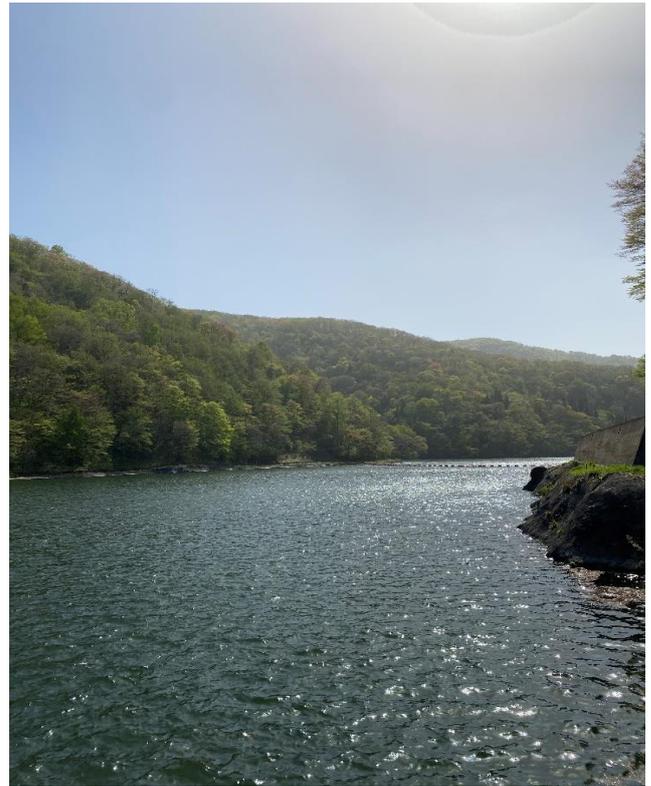
## 「水土里の風景」

題名	豊沢川地区の水田を潤す「豊沢ダム」
施設名	豊沢ダム
撮影所在地	岩手県花巻市豊沢地内
水土里レポーター名	豊沢川土地改良区 業務課 企画管理係技師 伊藤太希

写真(携帯等で撮影したデータサイズの小さいものでも結構です)



豊沢ダム放流施設



豊沢ダム満水時

コメント(写真に対する思いや撮影の意図等、簡単なコメントを記入して下さい)

豊沢川地区は、本県中央部に位置し、花巻市、北上市、の2市で構成されており、西端は奥羽山脈に接し、南端は飯豊川に、また北端は平滝川、東端は北上川に接し、局所的な起伏が少なくおおむね平坦な穀倉地帯です。

豊沢ダムは、昭和24年に国営豊沢川農業水利事業により着手され、流域60km<sup>2</sup>、総貯水量2,335.6万m<sup>3</sup>の重力式コンクリートダムとして昭和36年に完成し、農業用水の安定供給に寄与してきました。しかし、農地造成などにより自流供給率が39%と低くなったため、本地区では、河川注水等も交えて利水しています。昭和48年からは、県営ほ場整備事業が実施され、利水を有効利用するため損失の少ないパイプラインや反復利用ポンプを多用し農業用水の安定供給と地域用水機能を図っております。

また、豊沢ダムは造成から約60年が経過しており、老朽化の進行が著しく、農業用水の安定供給に支障をきたしているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を投じなければならない状況となっていました。

平成27年、国営かんがい排水事業「豊沢川地区」が採択され、農業用水の安定的な供給と施設の維持管理費の軽減を図るため改修工事を現在行っています。放流施設には小水力発電施設を新設し、更なる維持管理費の軽減が期待されるそうです。

今年も春には、豊沢ダムの貯水量が満水となりました。放流施設が新たに改修され、放流と同時に虹がかかり、豊沢川地区の水田に「潤い」をもたらしています。